

民間活力を生かして 県営公園でアトラクションを視察

愛知県議団



民間活力を生かした県営公園での取り組みについて調査する愛知県議団(右から6人)

した。

このアトラクションは、同公園内の敷地を一部借り受けた民間企業が設営し、管理・運営も行う。動いて吠える実物大模型の恐竜(18体)が約2秒の樹林内に設置されている。恐竜の解説も用意され、子どもたちが楽しみながら学べる工夫も凝らされている。今後、散策用カートや通路などを整備して本格オープンする予定。平日は午前10時から午後5時まで(土日祝日は午前9時から午後5時まで)。

一行は県の担当者から、

公明党愛知県議団(渡会克明団長)はこのほど、名古屋市長区にある県営公園「大高緑地」内で今年7月からプレオープンした自然公園の活用について調査

収入確保など民間活用によるメリットや、プレオープン以降の来園者数が前年より20%ほど増えている現状などの説明を受けた後、施設内を見て回った。

渡会団長らは「民間企業との連携を強化し、県営公園の魅力向上にしっかり取り組んでいく」と語った。